地域活性化連合会の目的

人口減少社会を見据え　多様な主体の連携を築き

広域地域の持続可能な発展を目的とする

ダイバーシティ創生

多文化・多世代　共生 / 共助 のまちづくり

地域活性化 3 事業 / 地域再生計画

事業実施の目的⇒**「事業推進主体」**が 下記 3 事業 を進める中、地域の多様な主体の**「新たな つながり(絆)」**を築き、持続可能な地域の発展を目指す。

誰もが安心して暮らせるまち**「ダイバーシティ創生 / 共生・共助のまちづくり」**SDGs の周知から推進へ

＊＊＊**「事業推進主体」**＝ 地域再生制度を活用し、事業を実施する主体/体制を形成する＊＊＊

地域再生計画 地域活性化 3 事業	事業の趣旨	事業の内容	事業の対象 (対象者の範囲、数、属性)
1.国際交流事業 インドネシア ベトナム フィリピン **目 的** グローカル人材育成 相互理解の促進	事業実施の背景 少子高齢化（2025 年問題）に伴う人材不足解決の一助として 東南アジア 特に、ベトナム・インドネシア・フィリピン等の国々からの人材が今後ますます日本各地で就労し、身近な存在となることが推測される。 交流国との相互理解促進と国際間の絆を深める中、交流双国の学生のコミュニケーション能力と国際的な視野の向上を図る。 (SDGs の視点で事業を実施)	国際交流授業 (リモート交流授業) ＊トライアル 3 回実施済み	日本側 / 流山市 2 校(中学)の生徒及び教師 約 280 名 より開始 フィリピン側 /ラスピーニャス市 1 校の生徒及び教師 約 280 名 より開始 ＊事業趣旨の周知効果は双国で 2,000 名以上(子⇒親⇒族等へ)が見込まれる
		交換短期留学 (リアル交流の実施)	交流両国の生徒・教員 男子 8 名 女子 8 名から開始 ・日本から交流国へ⇒男女 4 名 ・交流国から日本へ⇒男女 4 名
		マンツーマン英会話 (リモート英会話/有料)	事業の進行状況により開始 対象者：不特定多数の市民 / (有料サービス) ＊千葉県・国際交流基金・文部科学省へ補助・助成金の申請
		長期留学支援 欧米留学への英会話スキルアップ	事業の進行状況(予算確保)により開始 対象者：不特定多数の市民 ＊千葉県・国際交流基金・文部科学省へ補助・助成金の申請
2.外国人職業人材受入事業 **目 的** 外国人材受入促進 相互理解の促進	少子高齢化に伴う人材不足解決の一助 インドネシア・ベトナム・フィリピンからの活力ある若い人材の受入促進より職場(地域)の活性化を図る。 (SDGs の視点で事業を実施)	技能実習生受入	対象者：流山市を中心とした 近隣各市の企業 (法的支援事項の委託費が収益) 日本全国の外国人材受入を希望する企業等への助言および支援
		特定技能人材受入	
		外国人材生活支援	受け入れた外国人材の支援等の施策を行政に提言
		家事支援人材受入 ＊東京・大阪・神奈川 ですでに実施されている	国の先駆的事業の横展開を図る事業として、家事支援人材の受入を提言 対象者：流山市を中心とした 近隣各市の介護施設 (委託費が収益) ＊在宅介護施設との連携により家事支援人材の活躍を促進 / 国家戦略特区活用
3.地域活性化事業 **目 的** 地域の持続可能な 発展	外国人材の受入を促進する中、多文化・多世代の共生・共助社会構築を目的として多様な主体ならび広域地域の連携を図る。 女性・シニアの活躍の場の創出 (SDGs の視点で事業を実施)	多文化・多世代の交流推進	事業の進行状況/予算確保により地域の多様な主体(産官学民 金労言士)との連携構築より企画・開催 / 行政・公益団体・DMO・企業等々の協働実施 (財源：基金への拠出・寄付・補助/助成金・企業版ふるさと納税等) 不特定多数の地域住民
		ふるさとづくりの推進	
		地域連携ツーリズムの推進	
		地域活性化イベント開催	

1.国際交流事業（グローカル人材育成プロジェクト）

＊グローカル人材とは、国際的な視野を備え、地域の草の根の視点で物事を考え行動し、地域に貢献する人材

SDGs 達成に向けた手段として、下記の事業を実施 する。

実施する事業
（地域における持続可能な開発目標）

① ICT を活用した 国際交流授業（授業枠で実施）

② 交換短期留学（一部無償にて実施）

③ マンツーマン英会話レッスン（海外とリモート実施）

④ 長期留学生支援（予算内で奨学金支給/現地支援）

期待する効果

○ 交流学生の英対話力/国際的な視野の向上

○ 国際間の地域の「つながり」と「絆づくり」

○ 地域の関心より グローバル意識の醸成

事業実施の目的
グローカル人材育成

2. 外国人 職業人材受入事業

【人口減少・労働力不足/2025 年問題　課題解決の一助】

SDGs 達成に向けた 手段として、下記の事業を実施する。

実施する事業

（ 地域経済における持続可能な開発目標 ）

① 外国人技能実習生の 受入促進（実習生受入）

② 特定技能・ 高度外国人材の 受入促進（労働者受入）

③ 地域に居住する外国人の生活支援（多文化共生）

④ 国家戦略特区による家事支援人材の受入（介護人材不足の一助）

期待する効果

○ 職場（地域）の活性化

○ 多文化理解の促進

○ 多文化 共生/共助社会づくり促進

事業実施の目標

国際間の地域パートナーシップ構築

3.地域活性化事業（ダイバーシティ創生）

＊ダイバーシティ創生とは? 国籍、性別、年齢、宗教、ライフスタイル などに固執することなく
多様な人材を受入れ、共生することにより地域の持続的発展につなげる取組です。

SDGs 達成に向けた手段として、下記の事業を実施 する。

実施する事業
（地域における持続可能な開発目標）

① 多文化･多世代の交流推進（ワークショップ 等）

② ふるさとづくり推進（地域の文化/歴史の継承）

③ 地域連携ツーリズム（歴史的文化遺産の活用）

④ 地域活性化イベント開催（多文化･多世代交流）

期待する効果

○ 地域の「つながり」と「絆づくり」

○ ダイバーシティの 周知 ⇒ 意識改革

○ 先進と伝統の融合より地域への愛着心の醸成

事業実施の目的
ダイバーシティ 共生/共助のまちづく

地方創生にかかる 地域再生計画

SDGs 推進 地域活性化事業（スタートアップチーム４名）

実施フロー

地域活性化事業 第三者管理協議会　監査 及び 地域コーディネート

千葉県（流山市より東葛地区他市との連携を想定）⇔ 地方創生推進室

連携

監査

指定

報告

指定

監査

連携

地域活性化連合／基金評議会

公益団体

工業関係

福祉関係

農業関係

商業関係

教育機関

地域間連携

多分野/多業種の協働

地域再生推進法人

一般(公益)社団法人 RAF（外国人材の受皿）

～新たな「つながり」の構築を目指して～

地域と地域・他分野/多職種の連携構築

共同事業

地域再生推進法人

NPO アジアンビジョン（外国人材の確保）

～ アセアン地域とのパートナシップ構築 ～

新興国の活力を取り込み地域活性

ベトナム・インドネシア・フィリピン 事業実施拠点

職業訓練校

介護・保育 等々あらゆる職種

教育機関

高校 / 大学

企 業

政府認定 人材送出機関

ハノイ市

デンパサール市

ラスピーニャス市